

2025 年度 長岡大学シラバス

授業科目名		日本事情 2 (The State of Affairs in Japan2)				担当教員		村越 真紀 (ムラコシ マキ)	
2020-23 年度 入学者(20K-23K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	認知定着・確認型 AL	
	2010-0-11-008	教 養 科 目 (留 学 生 科目)	必修	1 単位	1 年次	後期			
2024-25 年度 入学者(24K-25K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	認知定着・確認型 AL	
	2410-0-11-008	教 養 科 目 (留 学 生 科目)	必修	1 単位	1 年次	後期			

① 授業のねらい・概要					
日本での生活で気を付けなければならないことを学ぶ。日本、新潟県、長岡市、日本文化について学ぶ。					
② ディプロマ・ポリシーとの関連					
職業人として通用する能力、コミュニケーション能力					
③ 授業の進め方・指示事項					
授業の最後に、出席確認を兼ねた小テストをする。宿題になることもある。					
授業の前：次の授業で勉強する範囲を予習する。					
授業の後：授業の内容を確認する。					
授業はすべて日本語で行う。					
教室では、自分の国の言葉や英語を使わず、日本語で話すこと。					
④ 関連科目・履修しておくべき科目					
できるだけ、日本語 I-1 (Japanese I-1)、日本語 I-2 (Japanese I-2) も履修すること。					
日本事情 1 (The State of Affairs in Japan 1) を必ず履修すること。					
⑤ テキスト(教科書)※授業で使用する。					
教科書は指定しない。レジュメや公式サイトなどを利用する。新潟県広報誌『新潟県のすがた 2025』(4月以降、県公式サイトで公表される予定のPDF版)を利用する。					
⑥ 参考図書・指定図書 ※授業では使用しないが、授業内容に関係し、理解を深めるために必要とする。					
金津日出美・桂島宣弘 (2017)『留学生のための日本事情入門【改訂版】』文理閣					
藤井剛 (2016)『詳説政治・経済研究 第3版』山川出版社					
⑦ 担当教員からのメッセージ (昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等)					
積極的に授業に参加してください。					
授業時間以外にも、自分で勉強してください。					
⑧ 評価Aに対応する具体的な学習到達目標の目安					
(i) 授業内容(新潟県・日本の概要、茶道を通じた日本文化)について、授業で説明した範囲を十分理解し、質問に90%程度答えられた。					
(ii) 授業内容(新潟県・日本の概要、茶道を通じた日本文化)関連語彙について、授業で説明した範囲であれば、読みを問う問題と意味を問う選択問題に90%以上答えられた。					
(iii) 自分の国のお正月や茶道体験に関して、具体的な内容や感想を1000字程度にまとめて発表できた。					
⑨ ルーブリック					
評価基準	S	A	B	C	D
評価項目	到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する

(i) 授業内容（新潟県・日本の概要、茶道を通じた日本文化について）の理解	授業で説明した以上の範囲を自ら学び、90%以上質問に答えられた。	授業で説明した範囲について十分理解し、80～89%質問に答えられた。	授業で説明した範囲であれば、70～79%質問に答えられた。	授業で説明した範囲であれば、60～69%質問に答えられた。	授業で説明した範囲であっても、60%以上質問に答えられなかった。
(ii) 授業内容（新潟県・日本の概要、茶道を通じた日本文化について）の関連語彙の習得	授業で説明した以上の範囲を自ら学び、読みを問う問題と意味を問う選択問題に90%以上答えられた。	授業で説明した範囲であれば、読みを問う問題と意味を問う選択問題に80～89%答えられた。	授業で説明した範囲であれば、読みを問う問題と意味を問う選択問題に70～79%答えられた。	授業で説明した範囲であれば、読みを問う問題と意味を問う選択問題に60～69%答えられた。	授業で説明した範囲であっても、読みを問う問題と意味を問う選択問題に60%以上答えられなかった。
(iii) 自分の国のお正月、茶道体験に関する発表	自分で作った資料を見せながら、具体的な内容や感想を500～800字程度にまとめて発表でき、質問にも答えられた。	自分で作った資料を見せながら、具体的な内容や感想を500～800字程度にまとめて発表できた。	具体的な内容や感想を500～800字程度にまとめて発表できた。	具体的な内容や感想を500字前後にまとめて発表できた。	具体的な内容や感想を500字前後にまとめて発表できなかった。

⑩ 学習到達目標（評価項目）	定期試験 (レポート含む)	小テスト	課題	発表・ 実技	授業への 参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	55%	5%		25%	15%		100%
(i) 授業内容（新潟県・日本の概要、茶道を通じた日本文化について）の理解	35%				5%		40%
(ii) 授業内容（新潟県・日本の概要、茶道を通じた日本文化について）の関連語彙の習得	20%	5%			5%		30%
(iii) 自分の国のお正月、茶道体験に関する発表				25%	5%		30%
フィードバックの方法	小テストは採点 ^{さいてん} して返す。						

⑪ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分）（※特別な持参物）	
1	ガイダンス、 なつやす しゆくだいはっぴょう 夏休みの宿題発表 日本について① ちり 日本の地理1 都道府県名と位置、県庁所在地	なつやす しゆくだいはっぴょう 夏休みの宿題を発表できるように準備しておく。 とどうふけん いち 47都道府県の名前と位置を調べる。 かくけん けんちょうしよざいち 各県の県庁所在地（県庁があるところ）の市の名前を調べる。	60分
2	日本について② 日本の地理2 日本の人口、日本の国土、	はいふしりょう 配布資料をよく読み、分からない単語は調べておく。	60分
3	日本について③ 日本の地理3 日本の国土、各地の特産品	配布資料をよく読み、分からない単語は調べておく。	60分
4	日本について④ けいざいし 日本経済史1 戦前の日本の経済発展	配布資料をよく読み、分からない単語は調べておく。	60分
5	日本について⑤ 日本経済史2 第二次世界大戦後の復興と民主化	配布資料をよく読み、分からない単語は調べておく。	60分
6	日本について⑥ 日本経済史3 第一次高度経済成長期	配布資料をよく読み、分からない単語は調べておく。	60分
7	日本について⑦ 日本経済史4 第二次高度経済成長期	配布資料をよく読み、分からない単語は調べておく。	60分

8	日本について⑧ 日本経済史 5 高度経済成長の終焉 しゅうえん	配布資料をよく読み、分からない単語は調べておく。	60 分
9	日本について⑨ 日本経済史 6 安定成長期、バブル経済とバブル経済の崩壊 ほうかい	配布資料をよく読み、分からない単語は調べておく。	60 分
10	日本について⑩ 日本経済史 7 失われた 10 年、格差社会	配付資料をよく読み、分からない単語は調べておく。	60 分
11	日本について⑪ 茶道を通じた日本文化理解 1 茶道の歴史、道具の名前	配布資料をよく読み、分からない単語は調べておく。 茶 ちや の湯 ゆ と日本文化について、以下を読んでおく。 おもてせん け ふ しんあん (表千家不審庵) http://www.omotesenke.jp/list2/list2-3/	60 分
12	日本について⑫ 茶道を通じた日本文化理解 2 茶道体験準備	配布資料をよく読み、分からない単語は調べておく。 和 わ のふるまいについて以下を読んでおく。 (表千家不審庵) http://www.omotesenke.jp/list5/list5-1/list5-1-1/ 水曜日の午後に、茶道部へ行って茶道体験をする。感想を発表できるように準備しておく。	60 分
13	日本について⑬ 茶道体験の発表 日本のお正月、新潟のお正月	12 週目の水曜日の午後に、茶道部へ行って茶道体験をする。感想を発表できるように準備しておく。 日本のお正月 しょうがつ について調べる。 自分の国のお正月について説明 せつめい できるように準備する。	60 分
14	日本について⑭ 日本のお正月、新潟のお正月	日本のお正月 しょうがつ について調べる。 自分の国のお正月について説明 せつめい できるように準備する。	60 分
15	日本について⑮ 自分の国のお正月についての発表	自分の国のお正月について説明 せつめい できるように準備する。	60 分

⑫ アクティブラーニングについて

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性